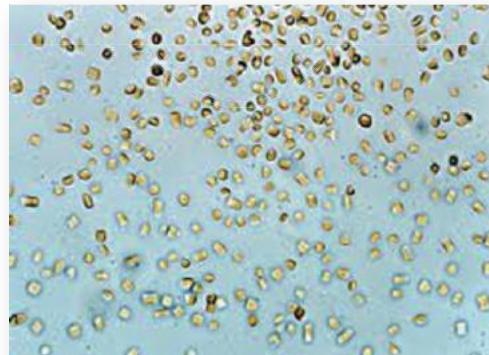


# ケトセロスエキス

フコキサンチンを含有する微性藻類ケトセロスカルシトランスのエキス

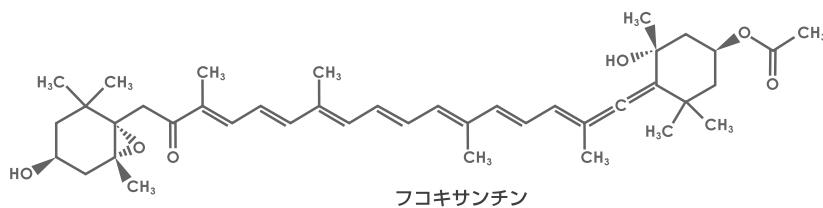
## ■ フコキサンチンとは？

- ・カロテノイドの一種  
(アスタキサンチンとは別の  
カロテノイド系化合物)
- ・非プロビタミンA
- ・海藻中では主に補助色素として  
光合成に関与
- ・大型海藻における含有量は  
0.001%程度の希少成分



## ■ 期待される機能

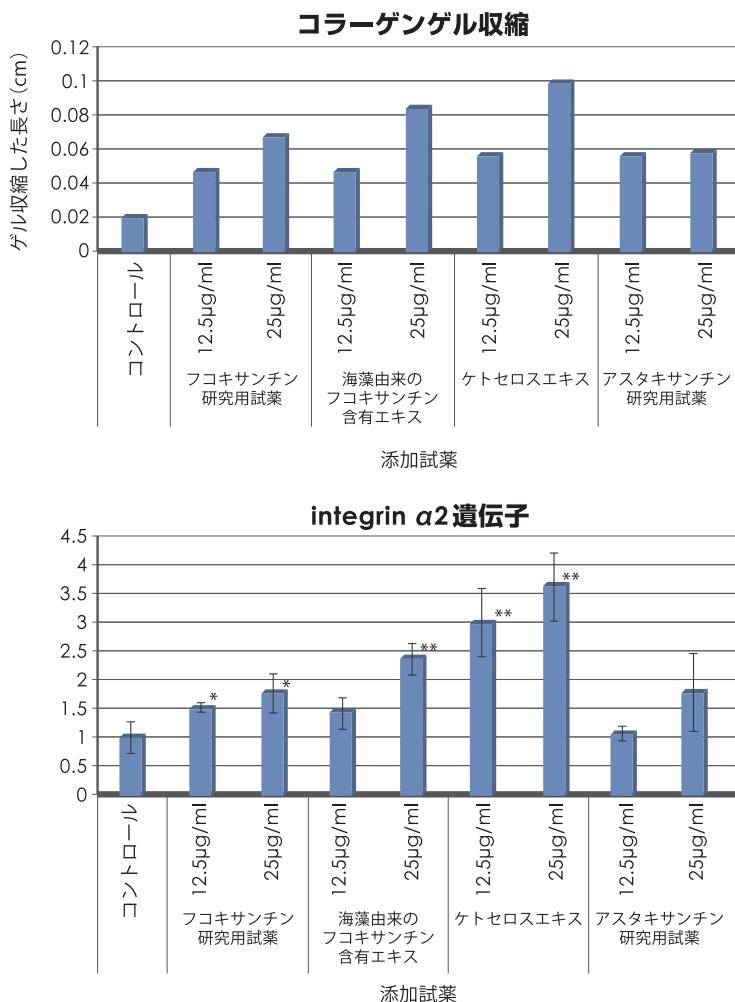
- ・メラニン產生抑制
- ・アンチエイジング  
**抗しわ  
たるみ  
抗酸化**



## ■ パナックがお届けできる安心感

- ・国内の提携先にて閉鎖系の培養装置にて大量培養します。
- ・国内にてエキス化し、原料としてご提供が可能な体制を整えています。
- ・閉鎖系での培養なので、他の微生物のコンタミネーションを  
極力抑える事が出来ます。
- ・各種安全性試験を実施しております。

## ■ 抗しわ・抗たるみ試験



コラーゲンゲルを用いた実験では、微細藻類(キートセロス)に由来するフコキサンチンでゲルの直径が収縮した。その効果はアスタキサンチンよりも強いことが明らかとなりました。

これは、integrin α2のmRNA発現量が増加したことによりヒト線維芽細胞とコラーゲン繊維との接着性が高まり、ゲルの収縮が促進されたと考えられます。

これらの結果からケトセロスカルシトランスエキスには線維芽細胞を活性化させ、インテグリン遺伝子の発現を促進することで、シワ、タルミに対して効果が期待できます。

## ■ メラニン合成抑制効果

	MC1R	MITF	Tyrosinase	TRP-1	TRP-2
フコキサンチン対策	↑	↓	↓	↓	↓
海藻由来のフコキサンチン含有エキス	→	↑	→	→	↑
ケトセロスエキス	↑	↓	↓	↓	↑

メラニン生成に関する遺伝子に対する各種のフコキサンチン含有原料の作用を調べた結果、各種遺伝子のmRNAの発現量を減少させる作用を確認した(海藻由来のものでは確認できない)。

チロシナーゼとTRP-1のmRNAの発現量を減少させる作用があった。

以上の結果から、ケトセロスカルシトランスエキスには、メラニン生成系に関する遺伝子の発現を抑制することで、メラニン合成含有抑制作用が期待できます。

【お問い合わせ先】

**パナック株式会社**  
Tel. 03-5442-8706

藻類事業プロジェクト 担当:佐藤